

まちの話題

栄光輝く

長年の功績や日々の努力を实らせ、栄光に輝いた皆さんをご紹介します

ふるさとひょうごSDGs スクールアワード
2025 小学校部門 最優秀賞

西紀北小学校

テーマ

北小トイレバリアレンジャー

～自分たちにできることを～



西紀北小学校6年生の皆さん(前列)

SDGsの目標達成につながる活動に対して、先進的な取り組みを行っている学校園をたたえる「ふるさとひょうごSDGsスクールアワード2025」(兵庫県教育委員会事務局主催)。西紀北小学校の昨年度の5・6年生9人が行った「学校のトイレ」の課題解決の取り組みが高く評価され、小学生部門で最優秀賞を受賞しました。

児童たちが取り組んだきっかけは、総合的な学習の時間に公共トイレが少ないという地域の課題を発見し、企業に理想のトイレを提案したこと。その後、学校のトイレに着目し、全校生にトイレに関するアンケートを実施し、自分たちができることを考えました。

その中で、スリッパの散乱や、尿の飛び散り、流し忘れ、便座が冷たいなどの課題を見つけた児童たちは、校長先生との交渉を経て、スリッパの散乱にはテープで枠を作りそろえやすくしたり、尿の飛び散りには小便器に的を付けたりするなどの工夫を凝らしました。

活動を振り返り、児童たちは「トイレがきれいになり気持ちよくなりました。みんなで協力すればできるということ学びました」とにっこり。続いて、担任の木村大倫先生は、「子どもたちの頑張り(きんぱう)が評価されてとてもうれしいです」とその喜びを話しました。



篠山チーム



大山チーム

新春駅伝大会 味間Aチームが7連覇達成(1月18日)

黒豆の館をスタート・ゴール(全7区間・14.490km)とする第23回「丹波篠山市新春駅伝競走大会」が行われました。市内13地区から20チームがエントリー。レースは、味間Aチームが号砲と同時に先頭に立つと、4区終了までに2位に約1分差をつける快走を披露。しかし、終盤、篠山Aチームが先頭との差を詰めると6区で逆転し、アンカー勝負に。最後は激しいデッドヒートの末、味間Aチームが5秒差をリードし、7年連続8度目の優勝を果たしました。3位には大山チームが入りました。



味間チーム

震災への思いをろうそくに刻む(1月15日)



阪神・淡路大震災の犠牲者を追悼するため、篠山中学校の生徒がろうそくに思いを書き込みました。これは同校が2018年から取り組んでおり、ろうそくはニホンローソク(株)[味間新]が無償提供したもの。約400本のろうそくは、伊丹市の昆陽池公園の式典会場に運ばれ、16日夕方から火がともされました。

ひょうご安全の日のつどい(1月16日)



古市小学校で、阪神・淡路大震災の教訓を次代に伝える「ひょうご安全の日のつどい」が行われました。震災・学校支援チーム(EARTH)所属教員の講演や、丹波篠山防災士会による紙芝居、起震車体験などを通して、子どもたちは自分で自分の命を守るために何ができるかを学びました。

「農都のめぐみ米」食育授業(1月21日)



今田小5年生を対象に、「農都のめぐみ米」食育授業が行われました。児童たちは、農家の方から米づくりの作業で農薬や化学肥料を減らしていることや、オタマジャクシの成長を確認していることを教わり、給食で食べているお米のことを詳しく知ることができました。

レスリング全国大会出場(1月24日・25日)



味間小6年生の片桐大誠さん、内藤陽心さん、同小4年生の片桐司道さんが、近畿地区の予選大会でそれぞれ優勝し、全国少年少女選抜レスリング選手権大会へ出場。大誠さんが小学6年男子46kg級で3位受賞、司道さんが小学4年男子30kg級で準優勝という成績を収めました。

丹波篠山の「ヒト」にClose-up

クローズアップ!

郡市区対抗駅伝大会で 丹波篠山男子チームが2部昇格



兵庫県郡市区対抗駅伝が2月1日、三木総合防災公園陸上競技場周辺コースで開催され、男子チームが3部(※1)で出場しました。同駅伝は中学生から社会人までの幅広い年代の選手がタスキをつなぐ郡市区対抗の駅伝大会。男子は43チームが出場し、7区間・38.8キロで争われました。1区には箱根駅伝を好走した城西大の小田伊織さんが区間12位(3部=区間3位)の力走をみせると、それ以降も中学生や高校生が粘りの走りで昨年からの5つ順位を上げ、総合18位(3部=3位)でゴール。2部昇格を決めました。木村如宏監督は「大学生たちがよいリズムをつくり、それが中学生や高校生の頑張りにつながり、3部で入賞することができました。来年は、さらに上の順位をめざしたい」と抱負を語りました。(※1) 前回大会の成績に応じて1~10位が1部、11~20位が2部、21~30位が3部、31位以下は4部での出場となる。

日置地区防災訓練 (1月25日)



この日は指定避難所である城東公民館への避難を想定し、自治会ごとに歩いて集合。展示や講演会のほか、新聞紙やビニール袋など身の周りにあるもので作る簡易防災グッズづくり体験が行われ、参加者は防災への意識を高めました。



★詳しくは、6ページをご覧ください。

館山市と学校給食交流 (1月22日)



館山市提供



千葉県館山市と丹波篠山市の子どもたちが、給食を通して両市を身近に感じることにより、将来においてより深い交流に発展することを目的とした、学校給食交流。館山市では「たんばささま黒豆パン」、丹波篠山市では館山市特産の「かんベレタス」を使用したスープが提供されました。スープを食べた子どもたちは「シャキシャキしておいしい」とぺろりと平らげ、館山市はどこにあるのかといった話に花を咲かせました。

第12弾 シンデレラ

～ハシバミの木と愛の魔法～



丹波篠山市民ミュージカル「シンデレラ～ハシバミの木と愛の魔法～」が2月7・8・11日の3日間、田園交響ホールで開催。今回は、シンデレラなどの主要キャストが交代で演じる初の「トリプルキャスト」でチームを編成。オーディションで選ばれた107人全員が、全6回公演に出演しました。継母と義理の姉妹にしいたげられ、暖炉の灰にまみれて働く少女が幸せをつかむ奇跡の物語に、客席を埋め尽くした観客から惜しめない拍手が送られました。



館山市へランナーを派遣 (1月25日)



千葉県館山市で開催された館山若潮マラソン。都市交流を目的に市民ランナーとして中西潤さんが派遣されました。フルマラソンを走り切った中西さんから「目標にしていた4時間切りを初めて達成し、忘れられない大会になりました」と喜びの報告が届きました。

日本の美食街道交流会 (1月28日)



大阪堂島浜タワー16階の「WowUs」で実施された交流会。丹波篠山市と大阪から約60事業者が集まり、試食・試飲ブースが設けられました。事業者同士の活発な意見交換も見られ、丹波篠山の「うまいもん」を広く紹介できる機会となりました。